

天下一宇宙旅行。 ※実はあの家族設定から作ってます汗 m()m

水野朱音作

舞台上にベッド。ベッドの上にAが寝ころんでいる。その脇にBが座ってメモを取りながら本を読んでいる。ある暑い夏の日のこと…。

『〇× (名字)』という変わり者ばかりの一家がなにかをはじめようとしていた…。

A「ねえねえ！海行こうよ！！ねーえ！てか連れてけ！！」

B「うるさいなあ～あたしに言っても仕方ないでしょ！勉強の邪魔だから向こう行ってよ！」

A「お姉ちゃんのケチ！！馬鹿！！」

B「あたしが馬鹿だったらあんたはどんだけ馬鹿だったの！！」

A「ぶー」

C、セリフの途中から、上手より登場している。

C「なんだなんだ～また喧嘩かお前たちは～…いい加減仲良くなれよ、姉妹なんだしー」

B「お父さん！Aが海行きたいってうるさいの！なんとかしてよ！勉強の邪魔になるし…」

C「海か～…いいなあ」

A「でしょ！？行こうよ～」

C「おーい！母さ～ん！あと残りの野郎どもー！」

上手から家族一同、ぞろぞろ入ってくる。

D「Σ誰が野郎だ！！」

E「お兄ちゃんとはもかくあたしは女だから野郎じゃないわよっ！」

F「もうなによー今丁度タカヒロが歌ってたところなのにい！」

C「まあまあ、なあ、お前ら…海、行きたいか？」

D「俺別にいいわ」

E「あたしも…日焼けするの嫌だし…」

F「あたしは…タカヒロがいれば何だっていいわよ♥」

C「それ夫の前で言っているのかよ」

A「お兄ちゃんもお姉ちゃんも行きたくないの～？」

B「ちなみにあたしも嫌だからね！」

A「えーっ！馬鹿！！」

B「Σさっきから何よあんたは！ほんっつとムカツクー！！」

C「仕方ないな。じゃ海は却下な」

A「やだやだやだー！！」

E「だってよく考えなさい！海にはクラゲがいっぱいいるのよ！刺されたらアンパンマン見たく膨れ上がってパンパンになるのよ！？」

A「Σやだっ！」

D「アンパンマンとか嫌な例えだな（汗）」

A「やっぱ海やめる…でもせっかく夏休みなんだし…絵日記の宿題に書きたいからさあ～」

C「行っちゃったって父さん普通車の免許何か持ってないぞ」

E「そうだった…」

B「何でそんな大事な免許を持ってないの！？おかしんじゃねえの！？」

C「でも戦車と飛行機の免許なら持ってろぞ！」

A「そうだったね」

E「でもうちの家族しか乗らないような飛行機が空港に『お邪魔しまーす』って入っていきけるの？！」

F「戦車で出かけたなりなんかしたら通報だけじゃ済まないわよねえ？」

C「ん？ちょっと待てよ…そう言えば最近宇宙船の免許取ったわ！！」

一同「おおっ！！」

C「宇宙船には食いつくんだな…（汗）」

D「まじかよ！宇宙とか超憧れるんすけど！」

E「行きたい行きたい！」

A「わーい！じゃあ今年は宇宙旅行で決まりだね！！」

C「おお！そうと決まれば皆！父さんについて来い！」

D「どこ？ 宇宙船。」

C「(ベッドを指さして) これ。」

A「は？」

- C「だから、これが宇宙船。」
D「どこがよ。」
C「ほら、ここんとこ。『NASA』って書いてあるだろ。」

皆はお互い顔を見合せ、のぞき込む。

- C「んじゃ、ちょっとデモンストレーション。」

ME。宇宙船っぽく稼働する音。

一同（父以外）「Σすげええええええええ！！」

C「どうだすごいだろう！！」

B「こんなのがあるなんて知らなかったああ…」

F「何で教えてくれなかったの～？」

C「いたずらされたらやだもん」

E「普通に喋りなよ」

C「…ま、それはさておき…お前たち！荷物の支度をしろよ！宿題とか着替えとかな！」

D「なあ親父一、テレビとプレ2持ってっていいかー？」

C「Σお前は宇宙へ行っても家と同じことをするのか！！」

A「あたし漫画全巻持ってきたいなあ」

E「あたしは読書用の本を…まだポリー・ハッターとそこらの石、読み終わってないし…」

C「Σポリー・ハッターとそこらの石！？どんな物語だよ！つか漫画全巻とかまじ無理だから！邪魔になるわ！」

B「じゃああたしは…お菓子300円分！！」

C「Σ遠足じゃないんだぞ！！つか300円とか安ッ！」

E「バナナはおやつに入りますかー？」

C「はいりませーん」

D「カレーは飲み物に入りますかー？」

C「生理的に無理で一す…じゃない！お菓子は…まあいんじゃね？」

B「やったね☆」

A「B姉ちゃん、きもいよ？」

B「くたばれ」

F「あたしはEXILEがあれば何でもいいわ♥」

C「Σ宇宙にまでEXILEを連れてくんない！！」

C、疲れている。D、ぽんっ、とおもむろに肩を叩く。

D「…つつこみ御苦労さん」

B「じゃあ父さんは何持ってくるの？」

C「父さんか？父さんはなー……………酒」

一同「コンの飲んだくれがああッ！！」

一瞬暗転。溶明。ベッドの上に、家族一同座っている。

C「ようし！みんな荷物持ったな？宇宙服に着替えたな？」

A「ΣこれTシャツじゃん！！」

C「これはTシャツという名の宇宙服だ！」

D「Σ無理あるだろ！」

B「し、心配になってきたぞ…」

C「まあいいから乗れ！よし！じゃあ出発のBGM！」

父、CDをステレオに入れる仕草。

C「GOう！！」

BGM「私のお～～お墓のお～～前あでえ～～、ん泣あかないでえ下さあいいいいいいい♪」

E「Σ何これ！！」

A「雰囲気あってないよっ！」

F「あたしのリクエストよ！」

D「Σ EXILE じゃねえの!？」

そして一瞬ガッタン!と大きな音をたてて宇宙船が揺れる。よろめいてお互いぶつかったり足踏んだり。そして「ぷしゅー」と音をたてて飛び立つ。

一同「おおおおおおお!!」

A「家がどんどん小さくなってくよー!」

B「当たり前でしょ!離れてくからそう見えるだけよ!馬鹿じゃないのお?(笑)

A「うっうるさあいつ!」

F「もう!小1と中3が喧嘩なんかしないのっ!…てゆーか宇宙服このシャツで普通に大丈夫だったのね…」

A・B「ふんっ!」

E「おおお!もう雲の中だ!!すげええ!!」

D「もしかしたらウルトラマンたちに会えるかも知れねえ!!いたら会いてええ(笑)

E「だったらUFOとか見つかるかもね!あたしも宇宙人にあいたいなあ〜」

D・E「おっほっほっほおおおおう!!(怪笑)

B「へ、変な人がいる…(汗)

C「どうだー?すげえだろう!」

A「うん!すごいすごい!!」

B「で、飛んではいいけど…これからどうすんの??」

C「え—————……(汗)

F「もしかして、どこ行くかも計画立てずに…?」

C、気まずそうにこくん、とうなずく。宇宙船の「しゅごーっ」という音だけが響いている。

一同「Σえええええええ!!?」

D「おいおい!ご利用は計画的にしてくれよ!!」

E「何か違うけども!!」

C「だっ大丈夫だ!父さんに任せなさい!!」

B「ほら!免許取ったくらいなんだから星の位置とかわかるでしょ!?どっか安全な星に止ろうよ!」

A「ウルトラの星行こうぜ!!」

B「Σわかるの!？」

D「シラネ」

B「Σウルトラマンに会いたいでしょ!」

A「やだああああ!もう帰りたいよおおお!泣」

F「タカヒーロー——!!」

E「Σええっ!?母さんが壊れた!!」

C「ととにかかく!みんな落ち着け!まだ地球は見えるんだ!帰れないことはないから安心しろ!
とりあえず今一番近い星に止ろう!」

D「今一番近い星太陽じゃねえか!!どうりで暑いと思ったわ!!」

B「じゃあこのまま行ったらあたしたち確実に焼け死ぬよ!!」

A「うわああああん!こんなところで死ぬなんて嫌——!!」

E「○×家集団丸焼き事件だ!」

D「丸焼きどころか灰すら残さねえぞ!!」

A「い`や`あああああ——!!(泣)

大騒ぎ。

C「しゃーらあああああああつぷ!!!」

一時停止。

C「もう!今太陽から離れたから安心しなさいっ!!もうちよい父さん信用してよー」

F「すいませんお父さん」←ソフバンのCMのおにーさんみたいに

D「ウルトラマンに会いてええええ」

E「宇宙人に会いてええええ」

A「帰りにええええ」

B「行きたいって言ったのはあんたでしょ!？」

A「あたしはホントは海に行きたかったの!」

C「でも宇宙行くつつつたら賛成したじゃないかYO☆」

D「なんでそんな異様にテンション高いんだ」

C「何で今頃嫌がるんだ！」
A「だって」
F「へチマ」
E「だってもへチマもない！！」
B「じゃあもう月に行こ！月！！」
A「えーっ！セーラームーン！？」
B「Σ月だっつってんだろ！」
D「月かー。いんじゃね？そーいや過去に行ったことある人おるしな」
E「アポロさん？」
B「それ人じゃないよ？」
F「じゃああたしたちは有名人になるわけね！すごいわっ！！」
C「いやもう一般家族が宇宙に行ってるのがすごいと思うけど…」
A「有名になってもおかしくないよね」
F「てかあたしたち大金持ちだからもう有名ね！」
B「Σ嫌味嫌味！！もうダメ、絶対！」
E「あれ？もう月についたの？」
D「Σ早くね！？どんだけのスピードで飛んでんだこの宇宙船！！」

ふしゅーー

C「着いたぞ！ここが月だ！！」
一同「おおおおお！！」
D「Σ見事になんもねえ！！」
E「さびしっ」
A「なんでセーラームーンいないの！？」
B「Σ月に住んでるわきゃねえだろ！！」
A「なんでえ！？馬鹿馬鹿馬鹿！！」
B「い い か げ ん に し ろ よ」
C「そろそろBの堪忍袋の緒が切れますね」
F「もう切れてるわよ？」
A「ぎゃふーん！！」
E「Σうわお！何！！」
A「ミラクルギャラクシーストロングパワーマックス5世ちゃんに餌やるの忘れた！！」
C「Σなんだそれ！長ッ！」
A「あたしの出目金！！」
D「Σ出目金にそんな名前つけんな！気味悪い！！」
B「ネーミングセンスなさすぎよ！出目金がかわいそう！！」
F「てか家に出目金なんていたっけ？笑」
E「Σ一番かわいそうなこと言った！」
A「みんなしてあたしのスーパーゴージャスファイティングマジンガーXちゃんをいじめないでよ！」
C「Σ名前変わってるぞ！！」
A「んも～！とにかくっ！やっぱり帰ろう！あの子が心配だよお！」

このへんでBがお菓子を取り出している。

D「Σここまで来て出目金のために帰れるか！」
B「ホギャー！ー！ー！！」
F「Σぎえー！今度はB!？」
B「お菓子『酔昆布』持ってこようと思ったのに間違えて『おしゃぶり昆布』持ってきちゃった！」
E「Σどっちもかわんないよ！！」
B「帰ろう！あたしの胃袋が酔昆布をほしがってるの！！」
C「Σこれまた下らん！！」
A「ほら！B姉ちゃんも帰りたいて！」
B「言っとっけど、あんたの出目金のために帰るんじゃないからね？」
A「うっさい馬鹿」
B「埋めていい？」

BがAに詰め寄る。

F「てかあなたたち何なの！？なんでここまで来てそんな下らない理由で帰りたいがるの！？」

D「Σつあーーーー！！」
E「Σだー！何っ！？」
D「タツヤで借りたCD返すの忘れてた！！」
C「そんなもん帰ってからでもいいだろう！」
D「明日までに返さねえと延滞料金100万取られちゃう！」
A「Σ100万！？」
B「何日借りてたの！？」
D「ざっと2年」
F「Σ長すぎよ！！長すぎてギネス記録に載るわ！」
E「Σ有名になることばっか考えんなあ！！てかなんで今！？」
C「これは流石に明日までに帰らんわけにはいかんなあ（汗）」
F「あなたまでっ？」
C「んー、実は父さんタカヒロのプロマイドに落書きしちゃったから母さんに殺される前に消しとかなきゃなっって」
F「…なんですかっ？」
C「あ、言っちゃった！てへ☆父さんったらおっちょこちょい☆」
F「帰ったら覚えときなさいよ…？」
C「ひええええええええ」
D「自爆したな」
B「こうなったらもうお父さんの命はないね」
A「自業自得ってやつだね」
E「どんまい☆」笑
F「お前たち！ひどすぎるぞ！！父さんを見捨てないで！！」
A,B,D,E「知らねえよ」
C「だってだって！母さんってば父さんがいながらタカヒロばかり構うんだもん！」
F「いっ、いいじゃないの！純粋なファンなんだから！」
D「いや異常なファンだよな」
B「だよねえ。だってあたし見ちゃったもん」
F「Σえっ！」
A「何を？」
B「母さんがタカヒロのポスターに向かってあーんなことやこーんなことしてるとこ」 みんなドン引き
F「Σぎやあああああああ！！」
E「Σまじで！？気ん持ち悪っ！」
C「Σなんだとお！？母さん！俺がいながらなんてことを！！」
F「ごっ誤解よ！！」
C「問答無用ー！」

暫く口喧嘩やら格闘が続く。

D「やばい！なんか家族崩壊の危機！！」
B「もしお父さんとお母さんが離婚したらあたしお兄ちゃんに付いて行く！」
E「あ！あたしもあたしもー！」
D「おう。来い来い！」
A「Σとんでもないこと言わないでよお！」
E「Σアオッ！！」
B「わっ！今度はE姉ちゃん！？」
E「今日確かポリー・ハッターと進路の部屋の発売日だ！」
D「Σいやな物語だな。…てか物語じゃなさそうだな」
B「なんでポリーが進路とか言ってるの？」
E「何言ってるの！愛しのポリーがあたしの進路について語ってくれるのよ！！」
A「愛しのとか知らないけど…E姉ちゃんだけに語るわけじゃないよねえ…」
B「E姉ちゃんって時々おかしいよね」
D「ああ。おかしい。車ばんばんに通っても平気で信号無視もするしな」
A「ブレーキを知らないんだよね」
B「てかないんだよね」 ※いちいち変なリアクションをとるっ！！
E「何か言った？」←超笑顔
3人「いいえ」
C,F「ふーっ、ふーっ」

半端なく疲れてる。倒れてる。

B「あ、終わった」
E「大丈夫？汗」 駆け寄る。
A「で、決着ついたの？」
C「ああ。今日の晩飯はオムライスだ」
D「Σあの話題からどうやってここまで持ってきたんだ！！」
F「あたしはピザがよかったのにつ…」
E「Σどっちでもいいじゃんか！」
B「てかもうそれ帰ること前提で晩飯とか言ってるの？」
C,F「そうです」
A「結局帰ることになったんだね…汗」
D「まあいいさ。また連れてってもらえば」
E「ちゃんとご利用は計画的にするべきだったね」
C「よーし。だったら帰るか！ We are home ！」
B「それ日本語訳したら『私たちは家です』になるよ？」

宇宙船に入って帰っていく～。

C「さあ BGM だ！」

ステレオに CD 入れる。

BGM「あんなこっといいな ♪ でっきたーらしいな ♪ あんなゆつめこんなゆ～めいっばあいあるうけどおお ♪」

A「Σドラえもん！？」
F「あたしのリクエストよ！」
D「母さんホントに EXILE 好きなのか？」

宇宙船に乗りこむ。そして帰る！

～数時間後～

C「ようし！帰ってきたぞ！マイホームへ！」
A「出目きーーん！！」（アラレちゃん）

A、走って部屋に入っていく。

E「Σ名前で呼ばないの！？」
B「酔っ昆布 ♪ 酔っ昆布 ♪」

B、スキップしながらその後に行く。

F「よっぽど食べたかったのね…」

親父、こそこそとタカヒロのブロマイドの落書きを消し始める。

F「あなた？」
C「Σぎくう！！」
F「覚えてなさいね…ふふふふふ…」

F、父の方を振り返りながら歩いて続く。

C「Σ怖ッ！！」

C、ちょっと小走りですついでに行く。

D「さーて！俺はさっさとタツヤに行かねえと！！」
E「待ってお兄ちゃん！あたしもポリー・ハッター買うから一緒に行く！」

二人とも反対方向へ歩いて行く。皆がいなくなったら暗転。

証明がついた時には、A 以外が座って何か話している。

A 「見て見てー！絵日記かけたの！」

A が絵日記帳を手を走ってくる。

C 「おっ！見せてみなさい」

A 「ほら！」

B 「なにこれ。みみずが這ってんの？」

A 「みみずなんて這ってない！あたしが描いたの！！」

E 「…これ、どの場面なの？」

A 「これは皆が帰らなきゃなんないって騒いでた時のだよ！」

F 「そんなところ書いたのね…お父さんとお母さんが喧嘩してるとこじゃないのよ～」

D 「つかなんで親父が母さんに鞭打ちされてんの？何気に笑ってんだけど」

C 「Σなんだと！！？お父さんをいじめやがって！」

B 「なんか恥ずかしいからやめてくれる？」

E 「A ってこんな趣味してんの？」

A 「え？お父さん喜ぶと思って描いたんだよ？」

D 「無邪気ってこえーな」

F 「あなたが喜ぶならやってみてもいいわよ？」

C 「お父さんはまぞ (M) じゃねえ！！とにかく描き直しなさい！」

親父、A を追いかける。

B 「きゃあっ！危ないよっ！」

A 「いやああ助けてー！」

C 「がおおおおっ！」

暴れる。皆も騒ぎながらバタバタし始める。SE と同時にストップモーション。

A だけがその中で動いて正面に向く。日記を読む。

A 「8月25日、晴れ。今日はベッドの宇宙船で家族で宇宙に行きました。太陽の近くとか月まで行きました。でも、出目金と酢昆布とタツヤとタカヒロのせいですぐに帰ってきました。やっぱりうちが一番です！」

再び、大暴れが始まる中、The end!!